

スクールカウンセラー布施先生のひとくちコラム

さて、長い夏休みが終わり、学校生活が始まりましたが、すぐにシルバーウィークや都民の日など休校日が続いています。家庭中心の生活から学校での集団生活への切り替えは、子どもたちにとってとても大変なことです。人といふことは楽しいことばかりではなく、周囲の状況に合わせよう、期待に応えようと、子どもたちは常に神経を使い、疲れがちです。長い休みの後や週初めなどは、『学校に行きたくない』と登校をしぶることがあります。大人でも長期休暇の後は、精が出ないことがありますので、登校しぶりという現象は、子どもだけでなく大人でも起きうる自然な感情です。

その際、お子様から学校生活の様子を聞いてあげてください。お子様から不平・不満を訴えてくることあるかと思いますが、「うんうん」、「そうだね」などお子様の気持ちに同調することにより、自分の思っていることを話し、しっかり聞いてもらえることで不満が解消され、不安がなくなる場合があります。やがて、『よし、頑張ろう』と努力する気が沸き、『学校が楽しい』と思えてくるかもしれません。

登校しぶりの要因はたくさんありますが、お子様の気持ちをご家庭で温かく受け止めてあげることが抑止につながります。どうぞ、お子様を「偉いね、頑張ったね」と労い、学校生活の様子を聞き、お子様の頑張りを認めてあげてください。その他のご相談も承っておりますので、お気軽にご相談ください。